



# A A 通信

2007年(平成19年)9月1日 第4号

東京都渋谷区代々木2丁目23番1号  
ニューステイメナー865号室 (〒151-0053)  
Tel 03-6240-2300 Fax 03-6240-2301  
E-mail : info@asset-adv.co.jp



## 時候コラム

猛暑が続いています。8月16日に国内で40.9 という最高気温の記録更新がありました。同日には北極海の氷の面積が1978年の観測開始以来、過去最小になっていることが確認されました。7月にはヨーロッパ南東部の熱波による高温が伝えられ、地球全体の気温が高いのかと思いましたが、気象庁の「全球異常気象監視速報(2007/8/8-14)」には、南米ペルー南部からチリ北部、アルゼンチン西部などでは寒気が入って異常低温となった。週平均気温は -2~12 で、平年より2~6 低かった。アルゼンチンのミンチャオでは9日の日最低気温が -18 まで下がった(平年値:約 -3 )。と記載がありました。「全球異常気象監視速報」という名称が恐ろしいと思いましたが、内容から適切な名称であるとも感じられて、非常に複雑な気持ちです。

## 通信トピックス

【借金と相続について】 ~借金の現場は深刻でした。~

NPO法人相続アドバイザー協議会の特別研修講座に参加して来ました。同協議会の常務理事である内藤 雄氏が「元・マチ金が明かす、借金と相続の現場」と題して、貸金業法改正の解説と、法の改正では救えそうもない借金と相続の実態について話をして下さいました。

貸金業法の主な改正点は「貸金業の適正化」「過剰貸付の抑制」「金利体系の適正化」「ヤミ金融対策の強化」です。「グレーゾ」の金利の撤廃と聞くと皆様にも記憶に新しいと思います。実際、貸金業法改正に伴って、貸金業界は減収減益となり、大手の再編(プロミスと三洋信販の統合)や、米企業の撤退(米GEのレイク事業)等、具体的な影響が見られます。

しかし内藤氏は、「法改正で貸金業者を締め付けても、貸す側は貸さないとやっていけないし、借りる側も借りないとやっていけない。悪循環は断ち切れず、借金問題は無くならない。」と厳しく言います。現実には法改正以降、借金が出来ない中小企業の倒産が増加しているそうです。

相続に関連した話では、借金を家族には言えず、何とかしなければという気持ちから嘘をつき、孤立・不安・絶望から自殺に至る場合が多いそうです。借金を知らない家族は、葬儀を終えて3ヶ月を過ぎた頃、貸金業者から借金の返済を求められ驚きます。民法には、相続放棄や限定承認は、相続人が相続開始を知った日から3ヶ月以内に行わなければならない、とあるからです。

「相続放棄すれば良い」と本には書いてありますが、「相続放棄」や「限定承認」は裁判所が受理するだけであって、「債務」が無くなる訳ではありません。債権者は、別途民事訴訟で支払を請求できます。この民事訴訟の中で、相続放棄や限定承認について有効・無効が争われるのです。この話には、多くの参加者が驚いていました。

内藤氏の印象的な言葉がありました。「借金は命がけて返せ!...でも、命に代える必要はない...。」まさに、貸金業から転身し、借金と相続のアドバイザーとなった内藤氏の「魂」を感じた言葉でした。

「相続対策=資産家の事」と考えがちですが、今後は「相続対策=借金対策」も重要な課題になると、改めて実感した講義でした。

## 家族で

~“戸田公園駅のJR職員さん”に大感激しました。~

妻の祖母が卒寿(90歳)を迎え、群馬県の水上温泉でお祝いの会がありました。祖母のほか、子供夫婦が3組6人、孫が私を含めて6人、曾孫が3人の総勢16人が集まって、楽しいひと時を過ごしました。祖母の「こんな恵まれた90歳は他には居ないね。」の言葉に皆が感謝していました。

さて、その往路での出来事です。8月18・19日の一泊でしたので、渋滞を心配して今回は列車で行くことにしました。調べると「SL&EL 奥利根号」という特別列車がありました。上越線の高崎~水上間でSL(蒸気機関車)が牽引して走る特別列車です。全席指定という事もあって、予め、自宅の最寄駅である戸田公園駅で指定席券を購入していました。そして当日です。大宮駅ホームへ行くと、見知らぬ男性が「私はJR職員です。失礼ですが戸田公園駅で指定席券を買われなかったのでしょうか?」と聞いてきました。私がうなずくと、「指定席券の発券を間違えましたので、交換に参りました。」と言うのです。



話を聞くと、特別列車は古い客車なので、座席符号(アルファベット)の割付が現在の列車とは違うようで、買った指定席券では4人が向かい合って座る事が出来ず、二人ずつ違った乗客と相席で列車に乗ることになっていたようです。

しかし、何より驚いたのは、列車の到着時間前に大宮駅で待機し、乗車する4人家族に声をかけて確認し、該当する私達を見つけ出して、正しい指定席券を手渡してくれた事でした。

あまりの丁寧さに驚いていると「駅長から乗車するまで見届けるように言われてます。どうぞ、ご乗車下さい。」と、列車が動き出すまで見送ってくれました。他の方と相席するより、家族4人で同席する方が楽しいに決まっています。おかげ様で楽しい車中になりました。沢山の指定席券を販売する中では、こうした間違いもあると思います。しかしながら、私達家族の為に真摯な対応をして戴いた戸田公園駅の駅員さんに大感激しました。水上温泉からの帰りには駅員さんにお土産を買い、家族皆でお礼を言って改札を後にして家に帰りました。